

市民環境大学OB会 ニュースレター



第10号 2016年9月15日 発行

岐阜・蛭ヶ野高原のコオニユリ

OB会有志による日野市湧水の定期測定7月より開始！

市民環境大学OB会では定期的環境監視の一環で放射線測定を継続実施していますが、日野市の貴重な財産である“湧水”の減少が懸念されており、今後定期的に測定していくことになりました。以下飯島会長からその趣旨についてコメント頂きました。

環境大学OB会として、湧水量調査について

飯島利三

- ・環境について学ぶことは知識の習得とともに具体的に行動を通して検証していくことが大切であると考えます。
- ・日野市は“緑と清流”を標榜し、多くの市民もこれを受容し、日々の生活の中で関わりが持てればと考えていると思われます。
- ・清流の源泉は湧水です。日野台地の周辺には豊かな湧水群があります。湧水を環境指標の一つとするために、長い時間をかけて観察・記録し、調査・研究していくことが必要と考えます。
- ・さらに、環境指標としての湧水の利用や活用についても取組み、市民の財産として未永く維持・保全していくことが大切です。

浅川の水量減少の危機！

今年の夏は8月14日に浅川ふれあい橋近くで日野市主催による初めての“浅川あゆまつり”が開催されました。大変盛大で、主催者発表では6000人の参加者があったようです。一方、最近浅川の水量が減少傾向であり、市民環境大学OB会では原因の一つが八王子市北野にある下水処理場からの処理後の放流を浅川から多摩川へ変更されはじめてためではないかということで議論を開始しています。以下OB会員戸川さんより投稿いただいたものを掲載します。

投稿

浅川の水量 大丈夫？

戸川に美子

浅川の水量が減っている。数十%も。4年後には大幅に減り僅かになってしまうという。

昨年6月末市民環境大学で、「今年7月から、八王子北野下水処理場の処理水のうち、分流式の分が小宮にある水再生センターに送られ、多摩川へ放流されることになる。そのため浅川への放流量が3/5になる」という話を聞いた。1年後の今年6月、再び環境大学でこの話題が出た。4年後には合流式も全て小宮に送られて高度処理された後、多摩川に放流される。つまり浅川への放流はゼロになる。その結果、浅川の水量は大幅に減る。

えーっ？子供の頃から親しんできた浅川が水無川になる？！俄かに信じ難いが、そういえば小倉先生から八王子市との協議について伺ったこともある。計画通り、工事も着々と進んでいるのだ。それなのに私は「緑と清流」の日野市が放っておくはずはない、何とか八王子市と交渉して原状を保つだろうと甘く捉えていた。余りに鈍かった。危機感なさすぎ。

いま考えられる問題点は3つ。(1)環境・生態系への影響。(2)「緑と清流のまち」を謳う日野市から「水のある風景」が大幅に無くなる。(3)日野市民のほとんどがこの事実を知らない。

(1)について ①豊田用水・平山用水・向島用水などの取水ができず、これらの用水は枯れる。②川の流量が減ると水温が上がり、既存の水中生物が生息できなくなる？③水流による気候緩和が消失する。④臭気の問題発生。⑤流量減により水が濁んだりして水質が悪化する。2014/7～浅川高橋橋下で月1回のペースで実施してきた水質調査ではCOD値に有意な数値変化はない。但し先月は5・5・5mg/Lと初めて3回とも5であった。⑥地下水位の低下？⑦河川敷の環境変化により思いがけない生物が住み着き繁殖(キツネ、アナグマなど)？

(2)について 日野市には浅川や用水の畔で育ち暮らしてきた人、水のある町に惹かれて移り住んだ人が多いのではないかと。私もその一人。浅川で泳ぎ、河川敷で遊んだ。草花に触れ、川べりの写生も楽しんだ。川風が心地よく、夏の夜の涼しさは格別だ。浅川や用水のある風景は心のふるさとでもある。子や孫の世代にも楽しんでほしい風景だ。

(3)について 八王子市のHPには関連情報が沢山あり議員の発言まで載っている。日野市は残念だが見つからず。ふれあい橋での鮎まつり、10年後もできるのですか？

OB会メンバー 活動イベントニュース

- ・ 日野用水開削450周年記念講座 9月3日(土) 9:45～16:30 会場:多摩平ふれあい館 (講師:小倉先生)

OB会 輪読報告 7月、8月のOB会輪読は以下の項目でした。

陸水学入門 川と湖を見る・知る・探る 編集:日本陸水学会 発行:地人書館

7月 Topics17 首都圏を流れ東京湾に注ぐ大都市河川 多摩川 8月 Topics18 日本最長の川 千曲川(信濃川)

発行:市民環境大学OB会